

令和4年産 紀南の梅産地情報

2022/03/18

1. 本年の梅の開花は、主力の南高で満開期が2月26日と平年より12日程度遅くなり、開花終期は3月11日と平年より13日程度遅くなった。また、開花期間は26日となり、受粉樹である小梅との満開期は3日程度のずれとなった。



開花始めから満開期にかけての気温は低く推移したが、満開期に入り気温が上昇し天気も安定したことから、本年産の作柄に期待している。

■ J A 紀南の梅の開花状況（平地標準調査地＝和歌山県田辺市中三栖）

品種 / 年	平年(H24~R3)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
小梅	開花始め	2/8~9	2/6	1/28	2/11	2/16
	満開期	2/16	2/18	2/7	2/15	3/1
	開花終期	2/28~2/29	2/28	2/20	2/28	3/14
	開花期間	22日	23日	24日	18日	27日
古城	開花始め	2/15	2/14	2/5	2/14	3/1
	満開期	2/23	2/25	2/13	2/16	3/9
	開花終期	3/7~8	3/7	2/29	3/2	3/16
	開花期間	22日	22日	25日	17日	16日
南高	開花始め	2/7~8	2/2	1/27	2/8	2/14
	満開期	2/14~15	2/14	2/3	2/14	2/26
	開花終期	2/26~27	2/25	2/16	2/23	3/11
	開花期間	21日	24日	21日	16日	26日
作柄		開花状況良好 4月、5月少雨 やや不作	開花中気象変動大 4月、5月少雨 不作	開花期間短いが、 天気は安定 4月、5月多雨 平年作		

2. 1月24日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、小梅で前年よりやや少なく・平年並み、古城で前年・平年並み、南高で前年よりやや多く・平年並みとなった。

■ 基準園の着蕾数（1年枝100節当たりの平均着蕾数）

品種 / 年	令和4年	令和3年	平年	前年比	平年比
小梅	85.8	97.1	90.1	88%	95%
古城	83.7	87.7	89.3	95%	94%
南高	59.4	53.9	56.4	110%	105%

3. 本年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。